

営業時間	10時00分 から 15時00分 まで	送迎実施の有無	有
法人理念	キリスト教の愛の精神に基づき「共に生きるあなたと私」を合言葉に利用者一人ひとりの人格と意思を尊重しつつ、安全に十分配慮した、質の高い医療と介護を提供し、地域福祉の向上に努めます。		
支援方針	運動面に遅れや障害のある幼児、訪問教育の学童に対して、心身ともに健やかな成長を目指した療育を行う。個人に合わせて、日常生活や集団への適応を促す支援を行う。		
<b>支援内容</b>			
本人支援	健康・生活	家族と情報共有し、常に健康状態に気を配る。子ども自ら健康な心と体を育てられるような安心安全な環境を作り、支援する。意思表示が困難な子どものサインに気付けるようにきめ細かな観察を行う。子どもの発達段階に沿った日常生活動作のスキルが身につけられるよう支援する。	
	運動・感覚	医師・理学療法士・作業療法士と連携し、拘縮や変形の予防とともに、姿勢保持や運動・動作能力、移動能力の向上に向けて支援する。姿勢保持具などの補助的手段を活用する。感覚や認知特性を踏まえた環境調整を行う。保有する感覚を統合しながら十分に活用できるよう関わりや遊びを通して支援する。	
	認知・行動	医師・理学療法士・作業療法士と連携し、認知機能の発達につながるような様々な経験を積むための関わりや遊びを提供する。ものや空間、時間等の概念の形成を図り、必要な情報が収集選択ができるよう子どもの特性を踏まえて支援することで、認知過程や行動の発達を促す。数量・大小・形・色等の違いを習得するよう支援する。	
	言語 コミュニケーション	子どもが意思を表出しやすい環境を作る。医師・作業療法士・言語聴覚士と連携し、子どもの言語の形成とコミュニケーションの基礎的能力が向上するよう支援する。人との相互作用の中で子どもの表出を見逃さず、その子に合った意思伝達方法を身につけるよう支援する。	
	人間関係・社会性	子どもの育ちの土台となるよう安心できる環境作りと信頼できる人間関係を形成するための支援を行う。遊びを通じて、対人関係の芽生えを促し、友達を意識できるよう介入することで集団活動への参加につなげていく。やり取りできる人の幅を広げていくことができるよう、事業所外の人と交流する機会を設ける。	
地域支援・地域連携 (地域交流・園外活動)	インクルージョンの観点から必要に応じて隣接する認定こども園や地域で暮らす子ども達との交流の機会を設ける。子ども・家族の生活が豊かになるよう相談支援事業所や医療機関、行政などの関係機関と連携する。		
移行支援	子どもの成長に合わせて適切な支援へつなげられるよう、保護者の意向に沿いながら関係機関と連携して支援する。児童発達支援センター、地域保育所・幼稚園への就園支援、小学校への就学支援についての仕組みについて伝える。		
家族支援	家族の思いに寄り添い、共に子どもの成長を見守る。家族の障害特性の理解と養育力の向上につながるよう、子どもの特性を踏まえた関わり方や日常生活動作への介入方法を適宜家族に伝える。きょうだいについての相談援助等を行う。		
職員の質の向上	法定研修はセンター全体で行う。事業所内研修を定期的に行う。関連学会に参加、発表し、最新の情報を支援に取り入れる。外部施設や地域の幼稚園・保育園に研修に行かせてもらい、実際場面での教育・保育・支援を勉強する。		
主な行事等	春の遠足 夏のプール 運動会 クリスマス会 思い出の会 卒園式		